

コース名	科目名		対象学年
良医の礎	日本語リテラシー		1
開講学期	科目責任者	副責任者	全体資料
2学期	橋本 美香		無

授業到達目標

1. 情報収集をすることができる。
2. 情報分析をすることができる。
3. 課題発見をすることができる。
4. 課題について対策や方法論を提示することができる。
5. 場面や状況に応じた確かな手段を用いて伝えることができる。
6. 相手の意見を尊重し適切な表現を用いて意思を伝えることができる。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	9/ 4	水	2	講義	橋本美・黒江吉岡	語学非常勤／学園外	ガイダンス	A-2-1)-1, A-2-1)-2 A-2-1)-3
2	9/ 4	水	3	講義	橋本美・黒江吉岡	語学非常勤／学園外	現代人に求められる能力	A-2-1)-1, A-2-1)-2 A-2-1)-3
3	9/18	水	2	講義	橋本美・黒江吉岡	語学非常勤／学園外	日本語の特徴	A-4-1)-2
4	9/18	水	3	講義	福永・橋本美黒江・吉岡	学長語学非常勤／学園外	情報収集力：インタビュー	A-4, A-4-1)-1 A-4-1)-2
5	9/25	水	2	講義	橋本美・黒江吉岡	語学非常勤／学園外	敬語：敬意を伝えるコミュニケーション	A-4-1)-2, A-4-2)-2
6	9/25	水	3	講義	橋本美・黒江吉岡	語学非常勤／学園外	情報収集力：情報源の特性を知る	A-2-1)-3, A-2-1)-4
7	10/ 2	水	2	講義	橋本美・黒江吉岡	語学非常勤／学園外	課題発見力：広い観点の中から問題点を洗い出す	A-2-1)-1
8	10/ 2	水	3	講義	橋本美・黒江吉岡	語学非常勤／学園外	課題発見力：問題点を分析する	A-2-1)-1, A-2-1)-2
9	10/ 9	水	2	講義	橋本美・黒江吉岡	語学非常勤／学園外	課題発見力：問題点を整理する	A-2-1)-1, A-2-1)-2
10	10/ 9	水	3	講義	橋本美・黒江吉岡	語学非常勤／学園外	課題発見力：発見された問題の中から、解決すべき課題を設定する	A-2-1)-3, A-2-1)-4
11	10/16	水	2	講義	橋本美・吉岡	語学非常勤／学園外	情報分析力：表やグラフを読み取る	A-2-1)-1
12	10/16	水	3	講義	橋本美・吉岡	語学非常勤／学園外	情報分析力：批判的、多角的に分析する	A-2-1)-2
13	10/23	水	2	講義	橋本美・黒江吉岡	語学非常勤／学園外	情報分析力：文献・資料を読む	A-2-2)-1
14	10/23	水	3	講義	橋本美・黒江吉岡	語学非常勤／学園外	構想力：広い観点から解決策を考える	A-2-1)-3, A-2-2)-2
15	10/30	水	2	講義	橋本美・黒江吉岡	語学非常勤／学園外	構想力：現実味のある解決策を考える	A-2-1)-4

16	10/30	水	3	講義	橋本美・黒江吉岡	語学 非常勤/ 学園外	構想力：計画を立てる	A-2-1)-1, A-2-1)-2 A-2-1)-3
17	11/ 6	水	2	講義	橋本美・黒江吉岡	語学 非常勤/ 学園外	構想力：ロジックツリーで考える	A-2-1)-4, A-2-2)-2
18	11/ 6	水	3	講義	橋本美・黒江吉岡	語学 非常勤/ 学園外	表現力：文章の種類と大学生としての学びに必要な文章を知る	A-2-1)-1
19	11/13	水	2	講義	橋本美・黒江吉岡	語学 非常勤/ 学園外	表現力：小論文アウトライン作成	A-2-1)-2, A-2-1)-3 A-2-1)-4
20	11/13	水	3	講義	橋本美・黒江吉岡	語学 非常勤/ 学園外	表現力：小論文作成	A-2-2)-2
21	11/20	水	2	講義	橋本美・黒江吉岡	語学 非常勤/ 学園外	表現力：レポートとは	A-2-1)-1
22	11/20	水	3	講義	橋本美・黒江吉岡	語学 非常勤/ 学園外	情報収集力：情報検索	A-2-2)-1
23	11/27	水	2	講義	橋本美・黒江吉岡	語学 非常勤/ 学園外	表現力：レポート（序論）	A-2-1)-1, A-2-1)-2 A-2-2)-2
24	11/27	水	3	講義	橋本美・黒江吉岡	語学 非常勤/ 学園外	表現力：レポート（本論）	A-2-1)-2, A-2-1)-3 A-2-2)-1, A-2-2)-2
25	12/ 4	水	2	講義	橋本美・黒江吉岡	語学 非常勤/ 学園外	表現力：日本語力チェック小テスト	A-4-1)-1, A-4-2)-2
26	12/ 4	水	3	講義	橋本美・黒江吉岡	語学 非常勤/ 学園外	表現力：レポート（結論）	A-2-1)-3, A-2-1)-4 A-2-2)-2
	12/ 5	木	1・2	講義末試験			テスト	A-2-1)-4, A-2-1)-5 A-2-2)-3
27	12/ 5	木	3	講義	橋本美・黒江吉岡	語学 非常勤/ 学園外	フィードバック	A-2-2)-4

評価方法

[講義末試験]60%（授業全般にわたっての理解を記述式により確認する。）

[小テスト]15%（授業で実施したクイズの理解度を確認する。）

[出席状況（受講態度）]5%（出席状況による。）

[その他]20%（授業中に指示した課題の提出状況を確認する。）

[評価方法]多肢選択試験、論述・記述試験、小テスト、出席・受講態度評価、論文・レポート

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて

小論文、レポートは、ルーブリックによる評価とし、評価基準を学生に示した上で、実施している。そのため、小論文は、評価表とコメントを付けて返却し、解説も実施する。レポートについては、実施後、ルーブリック評価からみた講評を行う。また、同意を得た学生のレポートについては、無記名もしくは記名の意思を確認の上、冊子にまとめる。小テストについては、全体に向けて問題点をフィードバックする。

教科書

問題解決のためのリテラシー強化書 講義編, 河合塾PROG開発プロジェクト, 河合塾, 2013

参考書

(特になし)

準備学習（予習・復習等）

予習：シラバスにより講義内容を確認し、該当する部分について、テキストに目を通しておくこと。また、それぞれの講義で指示したことについて、準備しておくこと。(1時間程度)

復習：講義中に指示した課題を実施し、指定した期日までに提出すること。(1時間程度)

講義についての注意事項

毎回、授業の振り返りシートを配布する。授業中に質問できなかったこと、不明な点があれば、必ず記入すること。

昨年度からの変更点・改善項目

外国人労働者の受け入れが拡大し、医療の現場でも外国人に対応する機会がさらに増えることが予想される。そのため、日本語を母語としない人との「やさしい日本語」によるコミュニケーションの方法についても、日本語リテラシーの一環として盛り込むこととした。

学生の受け入れ方針や卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について

本科目履修には入学時において、柔軟な思考や問題解決能力を備え、それらを日本語で表現できることが望ましい。本科目は医療における適切な判断力を養うための基礎科目である。2年次科目の情報活用と組織行動へと続く学問である。

ナンバリング

GLJL108